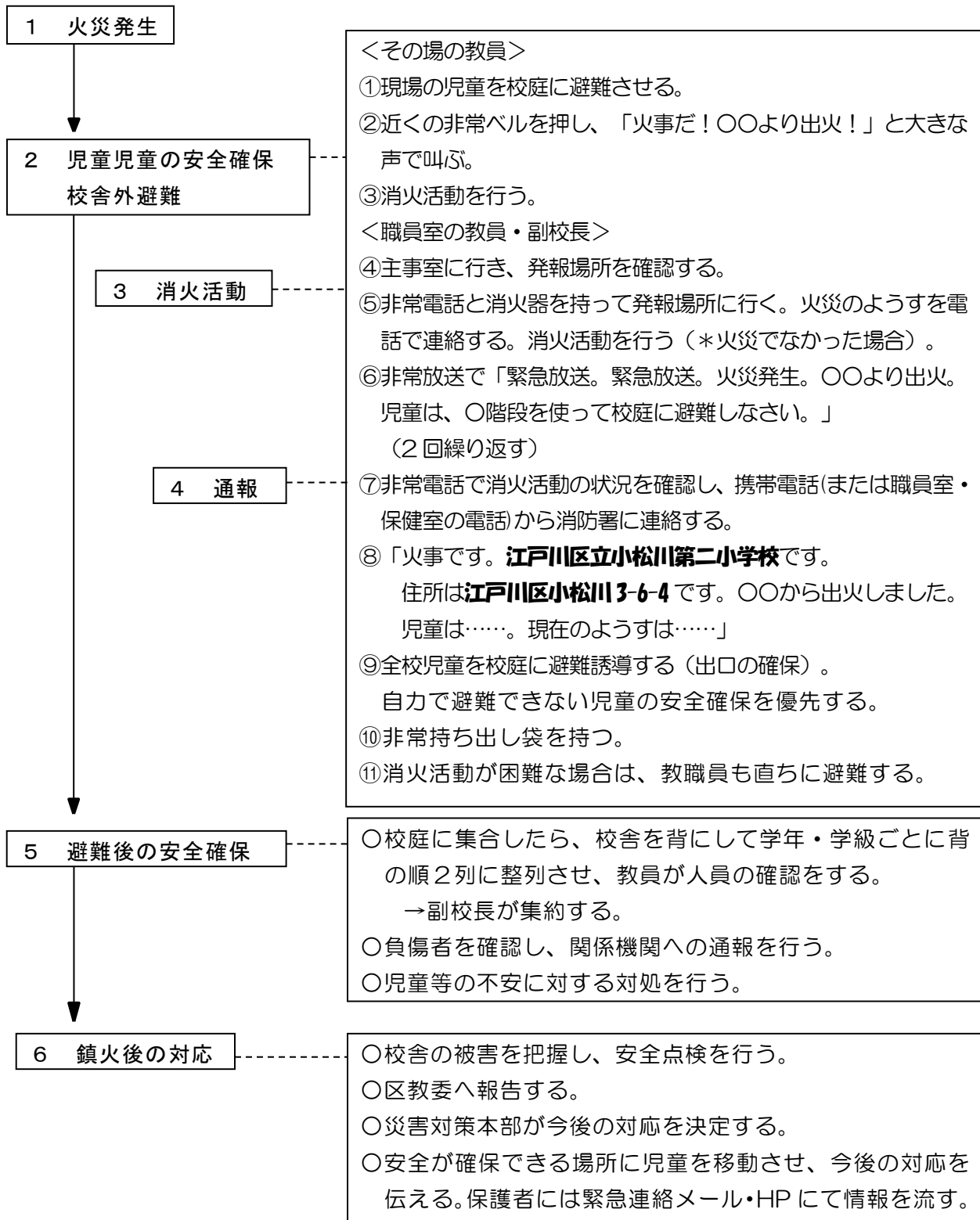


火災発生時の基本的対応要領



＊火災でなかった場合

非常ベルが間違えて押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

0. 平常時

- （１）出席簿に在籍数を記入し常備しておく。
- （２）毎日、８時４５分までに「健康観察表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。養護教諭は、すみやかに管理職に報告する。

■授業中（教員が指導している時）… 教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- （１）緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- （２）「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- （３）児童を廊下に出し、２列に並ばせる。

2. 避難中

- （１）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。
- （２）階段を降りるときは、上の階の学級が内側、下の階の学級が外側を歩く。（待たせない）
- （３）最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- （１）校舎を背にして（火を見せない）、学級ごとに出席番号順に並ばせる。
＊少人数指導の場合も学級ごとに並ばせる。
- （２）担任が、児童の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。
- （３）担任は、確認票に不在児童の数と名前を書いて副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり（〇〇が不明）」
＊「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。（欠席・早退・遅刻・停止を含む）
＜避難完了＞
- （４）担任が学級につく。

■休み時間等（教員が指導していない時）… 児童は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- （１）緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- （２）近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。
- （３）校庭で遊んでいる場合は、その場に静かにしゃがんで指示や教員を聞く。

2. 避難中

- （１）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

3. 人員確認

- （１）校舎を背にして、学級ごとに背の順２列に並ぶ。
- （２）教員の指示に従って、待機する。